

平成21年3月31日現在

研究種目：若手研究（スタートアップ）

研究期間：2007～2008

課題番号：19820058

研究課題名（和文） 小泉八雲と井上円了：宗教の言説を中心として

研究課題名（英文） Koizumi Yakumo and Inoue Enryō within Meiji Religious Discourse

研究代表者

James Baskind (JAMES BASKIND)

国際日本文化研究センター・海外研究交流室・プロジェクト研究員

研究者番号：50455226

## 研究成果の概要：

研究テーマは明治の宗教言説を取り上げたが（小泉八雲と井上円了を中心として）、研究が進めば進むほど近代仏教言説を支えた江戸の仏教概念を見る必要があることに再認識した。近代の仏教、宗教言説というのは、西洋から入ってきた比較宗教思想や科学思想によって大きく影響された。しかし、江戸時代の仏教概念によってその新しい思想、知的技術への反応、解釈や受け入れ方には大きな差があった。19年度と20年度の研究成果としては、近世と近代の仏教思想、ジャンル形成、そして宗派意識や仏教概念の形成過程が一段と把握できたと思う。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	900,000	0	900,000
2008年度	920,000	276,000	1,196,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,820,000	276,000	2,096,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：宗教学

キーワード：小泉八雲、井上円了、明治思潮、宗教学、科学思想

## 1. 研究開始当初の背景

研究開始当初は博士論文に取り上げた黄檗宗を中心として江戸時代の仏教の宗派意識、禅の概念が研究の焦点だった。その出発点から江戸から明治時代にかけての仏教、宗教の言説をより明確に把握することにした。

## 2. 研究の目的

研究の目的は日本宗教や仏教の言説を把握することである。その中、仏教と近代的概念やジャンル（宗教、迷信、科学など）と仏教思想の枠組み（自力仏教と他力仏教）との形成過程を明らかにすることが一つの大きな研究目的であった。

## 3. 研究の方法

研究の方法としては、当時の思潮の中に小泉八雲と井上円了の著作を検討した。近代の宗教言説、特に仏教言説を把握するため、江戸時代の仏教情勢に遡る必要が明かになった。そのため、江戸時代の仏教概念の形成における黄檗禅の役割も検討した。

## 4. 研究成果

科研費補助金をいただいたお陰で、まだ途中だが、研究の土台ができ、これからその上に築き上げたいと思う。成果として把握できたのは、近代仏教言説を理解するため、もちろん西洋からの新風を考慮せずにはいられないが、それと匹敵するほど江戸の仏教概念の形成も研究範囲に入れる必要があるということである。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

- ① James.Baskind、『日本における禅浄双修－黄檗宗を中心として』「日文研フォーラム」218 巻、1-32 頁、2009 年、査読無
- ② James.Baskind、『On Obaku's Joint Practice of Zen and Pure Land』  
「Japanese Studies Around the World 2008 - Scholars of Buddhism in Japan: Buddhism in the 21<sup>st</sup> Century」9 巻、195-218 頁、2009 年、査読無
- ③ James.Baskind、『The *Nianfo* in Obaku Zen-A Look at the Teachings of the Three Founding Masters』「Japanese Religions」33 巻、19-34 頁、2008 年、査読有
- ④ James.Baskind、『ラフカディオ・ハンの仏教観－19 世紀科学思想との一致論を中心として』「日本研究」37 巻、125-161 頁、2008 年、査読有
- ⑤ James.Baskind、『小泉八雲の宗教観』  
『日本学研究』2007 年上海外国語大学日本学国際検討会論文集、567-572 頁、2007 年、査読無

[学会発表] (計 6 件)

- ① James.Baskind 『Appropriating an Immortal:The Obaku School's Strategic Use of Lineage as Seen in the Text, *Tozuihen*』「Association of Asian Studies」2009/3/28、Chicago IL,USA
- ② James.Baskind 『『儒仏問答』研究－因果論を中心として』(Research on *Jubutsu mondo*: A Look at the Theory of Cause and Effect)』「『仏教から見た前近代・近代』研究会 (代表: 末木文美士)」2008/12/13
- ③ James.Baskind 『黄檗禅における禅浄双修』「日本語教育開始 35 周年記念国際シンポジウム」2008/11/21、University of Hanoi, Vietnam
- ④ James.Baskind 『日本における禅浄双修－黄檗禅を中心として (The Joint Practice of Zen and Pure Land in Japan: A Look at the Obaku School)』 「第 218 回日文研フォーラム」2008/11/12、ハートピア京都 (京都市)
- ⑤ James.Baskind 『明治宗教哲学における「自力」と「他力」思想: 井上円了と清沢満之を中心として』「日本の仏教学者: 21 世紀の仏教学に向けて」2008/3/15、国際日本文化研究センター (京都市)
- ⑥ James.Baskind 『小泉八雲の仏教観－19 世紀の科学思想との一致論を中心に』「日本宗教研究の基礎理論研究会」2007/11/22、国際日本文化研究センター (京都市)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

James Baskind (JAMES BASKIND)

国際日本文化研究センター・

海外研究交流室・プロジェクト研究員

研究者番号: 50455226